

令和4年度尾張旭市後期高齢者医療特別会計予算

討論要旨 川村つよし議員

新年度における後期高齢者医療制度では、保険料の改定により、約70%の方が値上げになると愛知県後期高齢者医療広域連合議会で答弁がありました。

値上げ額は数百円程度といっても、年金生活の高齢者にとって収入を増やすことは難しく、看過できないものです。

また、今年10月からは窓口負担が2倍になる2割負担となることを前提にした予算案で、この影響は県内で22万8,000人、被保険者の約23%だといえます。

先日開かれた予算決算特別委員会で、市の答弁で、燃料の高騰や小中学校や保育園給食における賄い材料費の高騰は懸念材料であるとする旨の答弁がありました。

物価上昇が心配される状況で、保険料負担や窓口負担の増加を迫る姿勢は、市長が施政方針で口にされた市民の皆様の命と暮らしを守ることとは矛盾しないでしょうか。大いに疑問があると指摘をし、討論といたします。